



### 揮發油をのんで 二歳の子供死亡

#### 子を持つ親は御用心

平町久保町十九番地古田部義雄社、新舞子を視察して午前十時妻キクヨは廿三日彼岸のため寶泉村に至り入遠野村大字大平の家なる石城郡内郷村大字内町金鯉川取入口から玉川、泉、上遠成源次郎方に至り二男辰雄(二野、小名濱地内の同江筋水路をツ)を家に残して墓参に行つた實査した後十一時植田町から勿つた揮發油を多量にのみ苦悶し列車で歸郷する筈である。てゐるのを歸宅して發見高坂病院で手當したが同日午後三時半死亡した。

### 小柳知事 石城郡視察

#### 廿五日來郡

小柳知事は二十五日午後二時五郡農會主催農業講習會は二十十分久々演説着自動車で四倉町日午前神谷村小學校に開き志賀に來り警察署、漁港を視察し海忠五郎氏の愛知縣下視察報告後氣館に投宿、同夜宿屋に開かる柴田、橋本、本田各技師の農事官民合同の歓迎の宴に臨み二講演あり午後二時から農業質疑十六日午前八時警城セメント會大會に移り午後五時散會した。

### 公金問題の裏面 収入役の横領と判明

#### 原町通信

相馬郡太田村役場収入役門馬市二十枚の内縣稅賦課金六圓四治が昭和三年度前期縣稅二千八百六十六圓の領收書を二千八百圓と百圓を縣支金庫原町百七銀行に巧みに變造したる事を自白した八月廿二日納入したるにも拘はるを以て山下は歸宅を許されたり縣財務課に不納とあつて門も門馬市治の共謀者ある見込馬收入役の不始末か又は百七銀にて目下原町署に於て嚴重取調行主任山下定吉氏の不始末かは中なりと云ふ。

▲原署武徳大會 原町警察署管内の武徳大會は廿三日午前九時より縣立相馬農藝學校に於て開かれたるが

◎柔道部 ▲八武藏氏(石神村)▲七点林氏(同村)▲五点佐藤氏(双中)▲擊劍部 八点佐々木廣(鹿島町)▲七点石田時(双中)▲五点杉本敬治(小高町)各氏優勝せり、而して今日の優勝旗を得しは三十五点にて大聖村青年團、次に三十四点

平五 山野遊樂局

は小高町青年團、三等は二十七点にて石神村に決定し、中村原町警察署長の優勝者賞狀授與式あり午後五時盛會裡に散會した。同日の來賓は鈴木重郎次、各町村助役(町村長會議の爲め)消防組頭、町村會議員等多數であつた。

### 近況

#### 新妻新平

引續いて會社を休んでゐましたが、此度都合に依りまして一先づ退職することにしました。此際心機一轉しまして他方面へ勇猛邁進したいからなす、いづれ上京するやうになりませう、之れが誠でありました場合ならば左のやうな句が出来ませう。呵々  
失業の群れに入る日や九十五度  
失業の父とも知らず買ひたかり  
これからのたつきに妻の智慧を借り

### 成田家一行 今晚初日

本社主催在平各新聞店後援に於ける歌舞伎市川壽美十郎一座は愈々今晚から平町聚樂館に開演する筈であるが初日藝題左の如く前人氣盛んである。  
▲一番目義経千本櫻通し▲中幕寶鏡先代秋御殿▲大切大江山四天童子▲お目見得だんま

松 鳥 季節向き新料理  
を始めました  
た誘ひの上御試食を願ひます  
平町田町  
電話二三六番  
初音

風味の良  
一の井ノ  
松茸フライ

▲新料理  
ハムとベーコン  
ソーシとゲンハイ

内臓外科専門 藤本 順  
骨關節外科  
整形外科

産婦人科 木村寅次郎  
婦人科  
外産婦人科  
平町新川町(電話一六四)

譲り度し

平町田町常磐銀行支店横通り  
商店向き家屋  
(姓名在社)

外科専門 X光線科  
上田外科醫院  
電話一二九番

液体空氣會社製(酸素含有量百分中)  
吸入用酸素酸素吸入器  
正確体温器寒暖計  
特約店 警城平町 内藥局  
電話四〇番

相帽と冬帽  
モダンな若人向  
スマートな紳士向  
東帽製フワ一七八〇  
イタリー製ペロア一七八〇  
ウール一五〇〇  
ツヤルヤル店

肺病助膜 専門薬  
不パ錠 薬價 十一日分 七〇〇  
卅三分 二〇〇〇  
▲試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。  
▲故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。  
▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。  
▲説明書密送す、御申込あれ。  
代理店 平町 山野邊藥局  
五丁目角